

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成31年2月13日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	高効率ヒートポンプ導入による冷温水製造システムの省エネ化事業
承認番号	KC1378
排出削減事業者名	高矢製麺株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名： なし)
事業実施場所	高矢製麺株式会社 (住所：福岡県行橋市大字今井字文久3212-1)
事業の概要	既存の冷温水製造システムに高効率のヒートポンプ及び熱回収型ヒートポンプを導入することで電力使用量、重油使用量を低減し、システムの省エネルギー化を図る。
排出削減量の計画	2012年度： 19 tCO ₂ 2013年度： 202 tCO ₂ 2014年度： 205 tCO ₂ 2015年度： 211 tCO ₂ 2016年度： 214 tCO ₂ 2017年度： 196 tCO ₂ (事業実施期間合計 1,047 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2013年3月1日 終了日 2018年2月28日
排出削減方法論	方法論番号002: ヒートポンプの導入による熱源設備の更新 方法論番号002-A: ヒートポンプの導入による熱源設備の更新 (熱回収型ヒートポンプ)

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2018年2月28日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	554 tCO ₂ (2015年4月1日～2018年2月28日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 冷温水製造、電力使用記録の確認及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 冷温水製造、電力使用記録からの集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより確認した。熱回収型ヒートポンプの電力使用量は計測ではなく、推定されていたため、モニタリング方法を変更し、保守的な推計が行われていることを確認した。 2) 活動量の正確性 冷温水製造、電力使用量の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。実測されていないことが分かった熱回収型ヒートポンプの電力使用量は、機器の定格電力消費量と稼働時間

	<p>により保守的な推計が行われていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認</p> <p>排出削減事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2等により、排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認された排出削減事業計画の通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を冷温水製造、電力使用量の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は、2015年4月1日から2018年2月28日までであるが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2018年2月28日となっているため、当該算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の実績確認において、承認された排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。熱回収型ヒートポンプの電力消費量が実測されていなかったため、モニタリング方法を変更し、機器の定格消費電力量と稼働時間による保守的な推定が行われていることを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 66.6 kL、熱量換算2,580.6 GJであることを確認した。

以 上